

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-06 緑化啓発事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				301	緑化啓発事業	
主管課	みどり課		関連課				
分野名	みどり						
目標 (目標値)	市民との連携による緑豊かなまち並の創造。緑化推進団体、地域緑化指導者、緑地の維持・管理ボランティアの育成と連携。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	6,658千円	6,528千円				
	(国・県)	884千円	925千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	5,774千円	5,603千円				
	人員配置数	1.4人	1.4人				
	人件費	12,913千円	13,009千円				
	協働の パートナー	かまくら緑のレンジャー 緑化推進団体	かまくら緑のレンジャー 緑化推進団体				
事務事業 運営経費	総事業費	19,571千円	19,537千円	20年度	14,500	15,132	
	市民1人当 りの経費	111円	111円	21年度	15,000	15,395	
	対象者1人 当りの経費			22年度	15,500		
				23年度	16,000		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・平成18年に改訂した「緑の基本計画」の考え方に沿って公的な緑化推進団体との連携に取組み、一部の事業を平成20年度から委託しているが、緑の学校等の受講者が減少傾向にある。また、同様の委託事業であるグリーンバンク制度の活用が図られていない。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	・緑の学校をはじめ緑のレンジャー等、各種講習会については、広報誌、ホームページ、緑化まつり等のイベントを通じて、周知を行い参加の呼びかけを行っている。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・各種講座の周知方法の改善やより魅力ある講座の充実。 ・グリーンバンク制度の周知と制度運用の検討。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・これまで緑化啓発事業が果たしてきた役割や成果を踏まえて、緑化推進団体並びに市民との連携の考え方に沿って、事業の充実と周知を図る。 ・「施策・事業の再構築」は、緑の基本計画見直し(平成22年度)の基本方針の一つであり、この事業についても、市民、緑政審議会等の意見も聴きながら、より良い今後の方向性を見出していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	緑豊かなまち並み景観を創造するため民有地の緑化の推進を図っていく。また、質の高い緑の環境づくりを推進するため、市民との連携を図っていく。		評価結果	改善の必要性	緑豊かな都市景観の形成実現には、市街地の緑化をはじめ、市民との連携が不可欠なことから、今後も積極的な取り組みを進めていく。	
A	有			A	有		
課長名		みどり課長 川名 達哉		部名・部長名		景観部長 土屋 志郎	